

求人情報

■初任給 高卒163,500円、高専卒186,500円、大卒211,500円  
 ■福利厚生 社会保険、財形貯蓄、家賃補助(独身者、転勤者)、保養所、育児休暇(最長3年取得可)、育児短時間勤務(小学校6年生修了まで)

■休日休暇 完全週休2日制(土・日曜)、祝日、夏季、年末年始等/有給休暇(動続5年未満20日)、ライフサポート休暇(年5日付与、最高20日)、リフレッシュ休暇(30歳5日間、40歳7日間、50歳10日間)

■職種 研究開発・技術開発・生産技術・設備保全  
 ■インターンシップ受け入れ/あり  
 ■大学生アルバイト受け入れ/なし  
 ■採用担当者連絡先 TEL/0224-24-3804 E-mail/saiyo@kemet.com

採用ページはコチラから

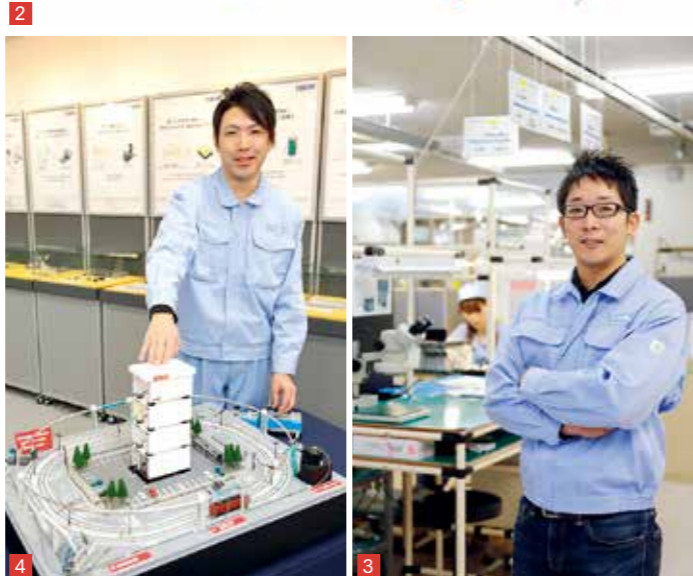


マイナビ リクナビ

■設立 1938年4月 〒989-0223  
 ■代表 小山茂典 白石市旭町7-1-1  
 ■資本金 1億円 TEL/0224-24-3804  
 ■従業員数 881人 FAX/0224-24-3806  
 (男778人/女103人) https://www.tokin.com/

# 株式会社トーキン

電子部品製造業



1 ノイズ抑制シート「バスタレイド」の製造設備。高品質を維持するため綿密な打合せを行う。2 電子機器の高性能化に貢献するデバイス群。素材からの開発で他社に真似できない価値を生む。3 製品の品質を支える製造現場。緊張感が伝わる。4 センサの機能を表すジオラマ模型。振動センサや焦電(人感)センサが電車の動きを検知した様子をわかりやすく再現。5 最大約5万倍まで観ることができる電子顕微鏡。物質の組織構造から解析し新しい材料を開発。6 電子機器から発生する電磁ノイズを測定する電波暗室。機器の機能を損なうノイズの測定からノイズ対策部品の提供まであらゆるニーズに対応。7 「はやぶさ、はやぶさ2」のイオンエンジンに搭載されている磁気回路も提供。開発には7年の月日を要したという。



素材からのものづくりを実践  
 真のグローバル企業を目指す

「ト」や「KS鋼磁石」などの工業化を目的として、1938年に創業された同社は日本におけるベンチャー企業の草分け的存在といえる。2002年のNEC電子部品事業との統合を経て、2013年にはアメリカの電子部品メーカー「KEMET社」と資本業務提携を実施。当時、日本のメーカーは大きな苦境に立たされておられ、打開のためには眼に見える変化とグローバルな成長が必須であると考えた結果だった。提携前から海外市場で事業を展開していた同社は、「KEMET社」との提携を「真のグローバル企業に脱皮するチャンス」と捉え、革新的な変化を遂げることに成功。2017年には社名を「株式会社トーキン」に変更し、グローバル企業へと大きく舵を切った。社名は変わっても企業として護り続けるもの、それは「素材型デバイス企業」というポジション。素材というモノづくりの原点を継承しつつ、世界的な規模でデバイスを供給する企業へと進化をしていく。

国際市場を視野に  
 グローバル化を実現

電子部品の製造を主な事業としている「株式会社トーキン」。東北大学金属材料研究所で発明された「センダス

素材へのこだわりと技術力が強みの「トーキン」。社会の進化・発展のため最新テクノロジーを支える製品を創出している。

# 13

## 真似のできない製品で 新たな価値を創出

国内はもとより、海外にも拠点を展開する同社の強みは、素材から製品まで社内で一貫して生産が可能なこと。カーエレクトロニクス、産業機器、環境エネルギーなど様々な市場へ製品を提供。簡単には真似のできない製品を生み出すことにより新たな価値を創出している。同社では金属材料をルーツとした磁性材料を応用した製品のほか、圧電セラミックス材料、同材料を応用したセンサ・アクチュエータ、ポリマーや活性炭を応用したキャパシタという3つのコア技術をベースとした製品群を展開。電磁ノイズ対策部品は身近な電子機器から電磁ノイズを取り去る役割を担っており、電子機器はもちろん、産業機器・環境自動車などの分野でも必要性の高まりを見せている。とりわけ、同社が世界に先駆けて提唱した、電子機器から発生する放射ノイズを効果的に抑制する、「ノイズ抑制シート」の「バスタレイド」では世界ナンバー1のシェアを誇っている。さらに、様々な

センサやアクチュエータも提供。建造物やライフラインに取りつけられる振動センサは建物の劣化などによる極めて微小な振動を感知し、トラブルを未然に防ぐことが期待されており、アクチュエータは半導体製造装置などナノテクノロジーに貢献。また、同社では導電性高分子タンタルコンデンサのネオキャパシタと電気二重層コンデンサのスーパーキャパシタという2種類のコンデンサを提供。ネオキャパシタはスマホやタブレットなどの小型・薄型化に貢献。スーパーキャパシタは医療機器やスマートメータなど高い信頼性が要求される製品に採用されるなど、豊かで快適な毎日に、トーキンの技術が貢献している。

## はやぶさにも搭載 宮城の「JAXAロケット」

同社の電子部品は宇宙分野においても注目を集めている。実際、2003年3月に宇宙科学研究所（ISAS）が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ」、2014年12月に打ち上げた「はやぶさ2」のイオンエンジンには共にトーキンのサマリウムコ

# 13

## 世界市場のみならず宇宙で活躍する製品も創出



研究開発本部では20~2,000倍まで拡大できるデジタルマイクロ스코プを用い材料の属性などを観測。



磁性金属粉末はシート状に加工するとバスタレイドになるなど、様々なデバイスに展開される。



困難に立ち向かうことが多い現場でも社員同士で笑顔がこぼれる。風通しのいい社風も魅力だ。



様々な課題と出合っても最良のソリューションを提案。お客様と一緒に解決へと進んでいく。



ロール状に仕上げたバスタレイド。スマートフォンなど用途に応じ、様々な形状に加工していく。



## 英会話やランチでコミュニケーションを促進

業務上必要がある人には勤務時間中に英会話のレッスンを実施。レベルに応じて楽しくスキルアップできる。ランチタイムではセクションの枠を超えて交流が図られている。

## 地域の小学生へ科学技術を指導

CSRにも精力的に取り組んでいる『トーキン』では、社会貢献の一環として地域の小学校で「理科特別授業」を実施。未来を担う子どもたちが科学技術に興味を持つ機会を創出している。



## 仲間を募って スポーツイベントに参加

毎年、社内で仲間を募り「仙台リレーマラソン」に参加。年齢や職場の垣根を越え、42.195キロ標をつなぎゴールを目指す。標をつなぐ面白さや、苦しい時に励ましあえる仲間がいる喜びを感じるイベント。スポーツを通じて交流を楽しんでいる。



## 次世代を担う 若き研究者を支援

同社が運営する「公益財団法人トーキン科学技術振興財団」では、宮城県内の大学などの研究機関で工学分野の試験研究を行う若き研究者たちを支援。毎年、贈賞すると共に奨励金を支給している。

バルト磁石を使った磁気回路が搭載され宇宙を飛翔。高い精度が要求されるミッションであったため、同社では数年にわたり耐久試験を実施するなど、「はやぶさ」が飛び立つまでに7年ほどの時間を要している。多くの難題をクリアし、人々に感動を届けたことで社内の士気も高まりを見せたという。

ビジネス環境が刻々と変化している現在から今後にかけて、変化の大きさやスピードはさらに加速することが予想されている。それに伴い、現在キーワードとなっているIoTやAIなどの進展はもちろん、新たな概念の誕生も予想され、電子部品が重要な役割を担っている。

変化をビジネスチャンスとして捉えている同社では、素材から一貫したものづくり企業というルーツを大切にしながら、真のグローバル企業となっていくために自らが勇気を持って変わり続けていくことが重要と考えている。「ダイバーシティはパワー」という信念に基づき、未来を見据えている。

## 充実の福利厚生 多彩な休暇制度

現場の声に耳を傾け、真摯に向き合ってきた同社の魅力は福利厚生面にも活かされている。とりわけ、若手職員に喜ばれているのが休日休暇の充実ぶり。完全週休2日制のうえ、年5日間のライフサポート休暇を取ることでもきる。GWや夏季、冬季には9~10連休といった長期休暇もある。「仕事を頑張った分は身体を休めよう」という社風から30歳で5日間、40歳で7日間、50歳で10日間というリフレッシュ休暇もあり、分割して取得できるのも嬉しい。産休はもちろん、子どもが3歳になるまで取得できる育休、小学校6年生修了までが対象となる短時間勤務など子育てする女性を支援する仕組みも整備。介護休暇も導入されている。芋煮会や広瀬川ウォーキングなど社内イベントも多彩。英会話をはじめ、資格取得のバックアップも行っている。同社では「面白いと思って仕事に取り組める前向きな人材」「時代の動静に柔軟な対応ができる人材」を求めている。